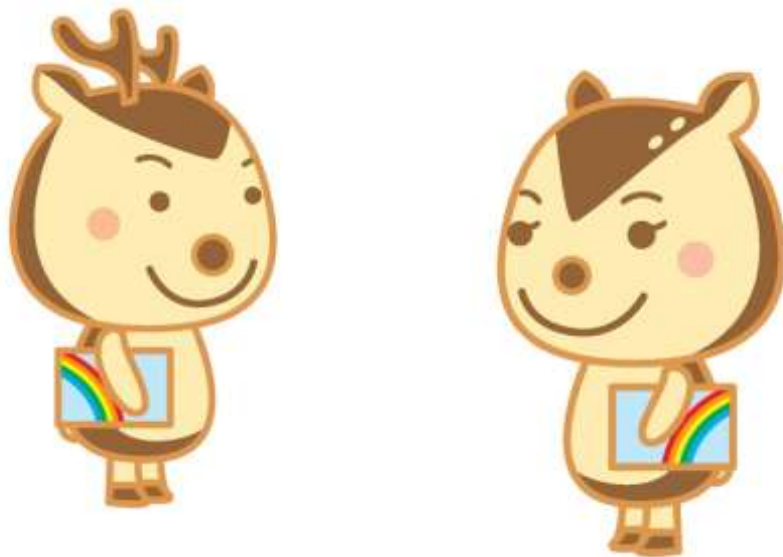


N 部門

(知的障害教育部門)

身体づくりの教材、
自助具（身体の動きを補助する教材）
感覚あそび的な教材
教員作成教材ガイド



平成28年度

東京都立鹿本学園

目次

- 「マットでじゃんぷ」
- 「ひっかけ上手になろう！」
- 「列車をつなげよう！」
- 「かんたんついたて」
- 「ペグ挿し」
- 「ビジョントレーニング」
- 「こぼさないで」
- 「フットイン」
- 「せんたくばさみでぱっちゃん」
- 「ギターが弾けるくん」
- 「洗濯ばさみカード外し」
- 「大きな地球」
- 「キャップオープナー」
- 「くねくね」
- 「フックかけ」
- 「マッチング」

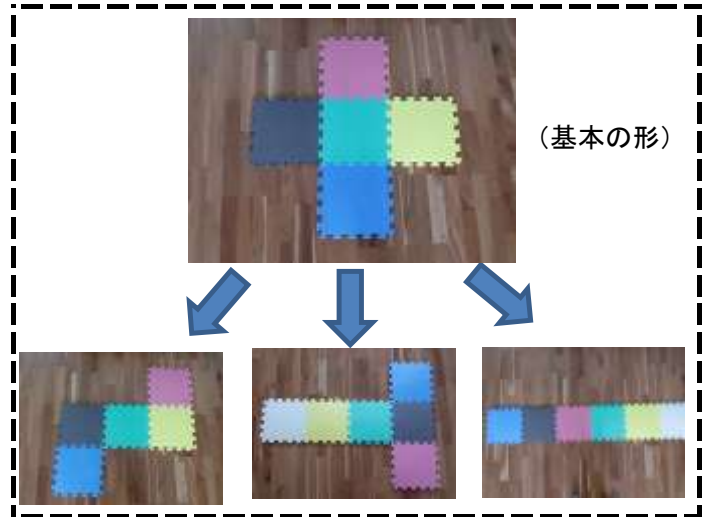
マットdeじゃんぷ

対象児童・生徒

- ・色の認識がある。
- ・ジャンプができる。
- ・両足で跳ぶことに課題がある。

小6 自閉症学級

Ⅲ - 1 ~ Ⅲ - 2



ねらい

- ・指示された色のマットに両足で跳ぶことができる。
- ・両足で跳ぶことができる。
- ・後ろに跳ぶことができる。

- ・マットの裏に滑り止めをつける。
- ・自由な形に組み合わせる。
- ・色を言語や視覚的に提示するなど色々な方法で行うことができる。

教材の使い方 (指導方法)

- ①児童にマットを渡し、提示されたとおりにマットを組む。
- ②指定された色のマットに乗り、ゲームスタート。
- ③「青」「黄色」など言葉で指定した色に跳ぶ。

〔色を視覚的に提示してもよい。また慣れてきたら、「ブルー」など英語で言うなどバリエーションは考え方でいくらかでも増やすことが可能です。〕

*マットの形は児童が自由に作ると難易度が上がったりする。

ひっかけ上手になろう！ ～目と手の協応を高める～

対象児童・生徒

- * 小・中・高の知的・肢体等の全特別支援学校・特別支援学級の児童・生徒対象
- * 自立活動・個別指導・各教科等で使用

軽度・中度・重度学級
太田ステージ I-1～Ⅲ-2



ねらい

- * 指先の操作性やスキル、視点を定めることを高める他、目と手の協応を図り、注視する力を伸ばしていく。
- * 高度になると言葉の指示だけで色や形を分別したりできる。
- * 触ったり、握ったりなどの感覚遊びにも使える。

- * エコクラフトテープを使用。軽くて丈夫・形も自在にでき、安全な素材である。
- * 形や色は日常に多くみられ、使われるものである。形は基本である丸・三角・四角、色は現職である赤色・黄色・青色・緑色・桃色、大きさは大・小で作成した。
- * 応用として、様々な種類の形をした物品を用意し、ひっかける練習もできるようにした。

教材の使い方 (指導方法)



- ① ひっかける教材や教材カード、様々な種類のフック、卓上ワイヤーネット台を用意する。
- ② 教員が様々な種類のフックをところどころにひっかける。色や形の教材カードを選び、カードを貼る。
- ③ 軽度の児童生徒にはフックを選んでもらい、好きな場所にひっかけてもらう。
- ④ カードの通りに、あっている教材をひっかけていく。

※右記の写真どおり、応用の使い方もある。

(応用例) 様々な種類の形をした物品をひっかける練習もできる。



列車をつなげよう！ ～ボタンの留め外し～

対象児童・生徒

- ・シャツのボタンの留め外しが難しい児童向けの教材です。
- ・手指の操作性を高めたい児童向けの教材です。

小6 重度・重複学級



ねらい

- ・手元をよく見て活動に取り組む。
- ・ボタンを留めたり外したりできるようになる。

・ボタンはつかみやすいよう大きなものにしました。

・ボタン穴は少し大きめに、生地は柔らかいフェルトにすることでボタンを通しやすいようにしました。

教材の使い方 (指導方法)

- ① 列車のボタンを列車のボタン穴に通し、留める。
- ② ①を繰り返し、全ての列車をつなげる。
- ③ 一つずつボタンを外す。

※大きなボタンの留め外しができるようになったら、一回り小さなボタンで挑戦する。それができるようになったら、もう一回り小さなボタンに・・・というように少しずつ小さなボタンにしていく。



かんたんついたて

対象児童・生徒

・物を注目するのが難しい児童

・自分でプログラムをめくることができる児童

N 小3 知的障害学級

太田ステージ III - 1



ねらい

・朝や帰りの会のプログラムを提示し、何をやっているのか見てわかるようにする。
・日直の仕事としてプログラムをめくって進行できるようにする。

・材料はすべて100円ショップで購入できます。
・作り方はとっても簡単。ラックを紐で結びつけ、リングをつけければ完成です。
・児童が準備、片付けができます。

教材の使い方 (指導方法)



①



②



③



④



つくえのなかに収納ができます

ペグ挿し ～探ってみよう～

対象児童・生徒

- ・視力が弱い児童向けです。
- ・日常生活でも手探りで生活しています。
- ・上手に挿せないと諦めてしまうことが多いです。
- ・利き手のみで活動や、事物の確認しています。

N 小4 知的障害学級

太田ステージ III-2



ねらい

- ・手指の巧緻性を高めたい。
- ・事物を自分の指で触り、確認する力を養っていく。
- ・台を支えたり、穴を探ったりなど、利き手でない手を使う。

その他

- ・探る範囲があまり広くなりすぎないように、体の前で完結するようなサイズにした。
- ・横に広いものと、高さがあるものの2種類用意した。
- ・初めの頃は、先にペグを持ちペグ自体で穴を探るようにして、挿すのが難しそうであった。しかし、次第に利き手でない指で穴を探り、穴の位置を確認してから挿すようになり、スピードも上がった。

教材の使い方 (指導方法)

- ・個別の学習で取り組む。
- ①両手で触り、どんな形のものなのか確認をする。
- ②利き手でペグを取り出す。
- ③利き手でない方の手で、穴の位置を確認しペグを挿す。
始めは穴の位置などガイドする。
- ④すべて挿し終わったら教員に報告する。
- ⑤挿したものを戻す時に、本数を数えながら戻す。

ビジョントレーニング ～眼を意識的に使おう～

対象児童・生徒

- ・動く色のマスを眼で追って、指さして
できる児童が対象。
- ・眼の使い方が苦手で、対象物を的確に
眼で追えなかったり、物によくぶつかっ
たり、つまずいたりする児童にぜひ取り
組んでもらいたい。

N 小6

太田ステージ I ~ III - 2



ねらい

- ・書く力、読む力、作る力、運動する力、イメージ
する力、記憶する力、集中力の7つの力を育てる。
- ・眼球運動（追従性眼球運動、跳躍性眼球運動）を
行うことで、見たいものを眼でとらえ、すばやくピ
ントを合わせられるようにする。

・Power Pointを使用して、1枚ずつ画面
を作成。様々な色の円が出てきたり、光
るマスを動かすのは、アニメーションの
機能を使用して作成した。

・当初は光るマスを追えなかった児童
が、繰り返しの取り組みで、追えるよう
になった。

・「寄り眼」「離し眼」を繰り返すこと
で、焦点の合わせ方がスムーズになって
きた。

教材の使い方 (指導方法)

- ①色の円が1つずつ出てくる
ので、瞬時に何色が出たかを
声に出して答える。
- ②赤が光って移動。光るマス
を指さす。光る速度を2段
階にして10マスずつぐらいの
設定。

③沢山のトマトの中から「りんご」を探す。も
とちゃんの中から「しかちゃん」を探すなど、
他にも3パターンほど用意している。
1/16 → 1/64 → 1/144 と段階を上げていく。

④人差し指にしかちゃんシールを貼り、「画
面の景色を離れ眼で見る」←→「指先に貼
ったしかちゃんのシールを寄り眼で見る」を、
号令と共に繰り返す。

こぼさないで！

～しっかり支えてゆっくり開けよう～

対象児童・生徒

- ・簡単な日常会話はできる生徒だが、質問に対する返答に時間がかかったり、質問の意味を勘違いしたりすることがある。
- ・手指の巧緻性の発達が未熟で、細かい作業や手指に力を入れることが苦手だったり、力加減が難しかったりする。
- ・色と色名のマッチングがあいまいなところがあり、色を選べない時がある。

N 中1 自閉症学級

太田ステージ III-2



ねらい

- ・手指に力を入れながらゆっくりふたを開けることができる。
- ・色名がわかり、仕分けることができる。

教材の使い方 (指導方法)

- ・個別課題学習で取り組む。
- ・一つずつふたを開け、色名が書かれた袋に移していく。(絶妙な力加減で袋を開けなければならぬので、難易度は少し高め。袋ではなく容器に移すところから始めていく。)
- ・袋または容器に移し入れたらトレーに乗せて教員に「できました」と報告をしに行く。



その他

給食時、牛乳瓶のふたを毎回勢いよく開けてしまい、牛乳が飛び散って顔や手が牛乳まみれに…そんな悲劇を止めたくて作成した。

最初はスチロールボードを細かく切って中に入れていたが、ふたを勢いよく開けても飛び散ることが無かった。ストローを切って中に入れたところ、ふたを勢いよく開けると飛び散り、ゆっくり開ければこぼれないという求めていたものになった。ストローは表面に着色をすると剥がれてしまうので、ストローを縦に半分に切り内側に着色をした。

フットイン ～使って慣れる、親指と人差し指～

対象児童・生徒

・ 中学部1年生、自閉症学級の生徒を対象とする。小さな対象物を利き手の親指と人差し指に持ち、窮屈なタッパーの穴の中に押し込むこむ練習。二本の指を使うこと、つまんで押し込むことが難しい生徒に有効である。

N 中1

太田ステージ II ～ III - 2



ねらい

・ 個別学習の授業で、できるだけ一人で練習するための教材です。対象物のおはじきを親指・人差し指で摘み、ちょっと窮屈な穴の中に、抵抗感を感じながら指で差し込むことができるようになる。対象物をよく見て根気よく取り組む。

・ 市販のおはじきと市販のタッパーを使用する。
・ タッパーの穴は、カッターでおはじきより小さい形に穴を開ける。
・ おはじきの入れ物は、一ずつ取りやすい、お金用の入れ物にする。

教材の使い方 (指導方法)

活動①対象物をよく見て、一定の入れ口に親指と人差し指を使って差し込めるように練習する。

- ・ 活動①左：まずコインを入れ口に入れる。緩めの入れ口なので、方向を定めて差し込む。
- ・ 活動②右：①のコインが上手に入れられるようになったら、②の練習に入ると、とても取り組みやすい。



せんだくばさみでぱっちゃん ～色別にはさもう～

対象児童・生徒

手の操作性をたかめたい児童・生徒や、マッチングを課題にしている児童。生徒を対象にする。

N 中2 自閉症学級

太田ステージ | ~



ねらい

- ・色の分別をする。
- ・洗濯バサミを手ではさむ。

・段ボール紙等の厚紙で作成して持ちやすいようにする。
・シールがとれないようにブッカーを表面につける。
・使い始めは色が合わないことが多かったが、次第に正確にはさむことができるようになった。

教材の使い方 (指導方法)

- ①始めのうちは洗濯ばさみを一つずつ渡して色別に正確にはさむのを確認しながら行う。
- ②慣れてきたら1人で取り組めるように促していく。

ギターが弾けるくん ～先生と1本のギターでデュオ演奏～

対象児童・生徒

- ・児童・生徒全員を対象とする。
当面、N中3を対象に使用する。

太田ステージ Ⅰ ～ Ⅳ以上



ねらい

- ・教員と一緒に、1本のギターで分業で演奏しよう！！

その他

- ・作り方は様々で、ポリプロピレン素材の板をカットし、やすりがけ、加工したもの、調理用のプラスチックへらをカットしてやすりがけをしたもの。
 - ・意外と本物のピックを使用したものは、使い勝手悪く、音も良くなかった。
- ☆生徒に5種類の教材を使用して演奏の様子をみてみたが、各々に使い勝手や音の良さが異なることに気が付く。個々に使い勝手、使いやすさが違うので個々に合わせた改良が必要。

教材の使い方 (指導方法)

- ・生徒とのギター演奏場面で使用する教材です。
使用場面は、その時々、生活単元学習、社会性の学習、日常生活指導（朝の会・帰りの会）、または音楽の時間です。
現在タイムリーで、N中3の音楽での課題楽器がギターであることで音楽MTの方からもこの教材を使用したいとの話も出ているので、2学期から使用開始となります。
また使いながら、個々に応じた改良や工夫を入れていきたいと考えています。
重度から軽度の生徒まで全員がギターに触れ、教員と分業で演奏することで、楽器で演奏できたという達成感や喜びから、楽器や音楽のさらなる楽しさへの発展となってくれることを期待します。

洗濯ばさみカード外し ～目と手を協応させて操作する～

対象児童・生徒

- ・ある程度指先を使うことのできる児童
- ・生徒のための洗濯ばさみを使う練習
- ・物の弁別をすることができる児童、生徒

N 中1 Ⅰ度・重複学習

太田ステージ Ⅰ



ねらい

- ・洗濯ばさみを用いて手指の操作性を高める。
- ・物の弁別をすることができる。
- ・絵と実物、絵と絵のマッチングを意識できるようになる。

- ・洗濯ばさみを外す際、単に引っ張ってははずそうとする児童・生徒がいると思います。カードに穴をあけて洗濯ばさみをはめ込んでいるので、しっかりと洗濯ばさみをつままないで外せません。
- ・カードには、生徒の好きなサーティーワンのアイスの写真が貼ってありますが、生徒によってはそのような興味を引く写真はないほうがいいという場合もあると思います。

教材の使い方 (指導方法)

- 個別の学習で取り組む。
- 三つのたっぱ位置や向き（穴の位置）はそのたびごとに変えるのではなく、固定することが望ましい。（写真は左からカード入れ、洗濯ばさみ入れ、外す前の状態、の順に3つのたっぱが並んでいる。）
- できるだけ自己完結することを目指す。初めの段階は言葉かけや指さしが必要な場合が多い。
- たっぱの穴のところには、手がかり（写真）が貼ってある。この手がかりをどれだけ意識しているかがポイントではあるが、意識していないケースも多いので、その際はできるだけ写真を確認できるような言葉かけをする。
- できたら一回ごとに褒めるようにする。
- ①洗濯ばさみとカードがついているものを取る。
- ②洗濯ばさみを外して、カードはカードの穴に、洗濯ばさみは洗濯ばさみの穴に入れる。

大きな地球 ～自分で回してみよう～

対象児童・生徒

N 中1 国語
学習グループD
特に「目と手の協応動作」
が
課題となる生徒を対象として
い
N 中1 重度・重複学級
太田ステージ 1



ねらい

「大きな地球」の歌やダンスに期待感をもちながら、主体的に手を伸ばして、地球ボードを回すことで「目と手の協応動作」ができることをねらっています。

- ・大きな画用紙に地球を描き、裏にスチレンボードを貼り付ける。ケーキボードを使用して回すようにする。
- ・生徒が触れたいくなるような色彩の地球を描いた。
- ・繰り返し目の前に提示することで、自然に手が出るようになり、それぞれのやり方で回せるようになった。

教材の使い方 (指導方法)

「大きな地球」に合わせてダンスをします。その導入として音楽だけを聞きながら自分で地球を回します。自ら手を伸ばして楽しむことをねらっています。

キャップオープナー ~できた!自分で開けられる!!~

対象児童・生徒

- ・ 中学部作業のリサイクル班でのキャップはずしをするグループに所属しています。
- ・ 視覚障害があり、手の力が非常に弱い生徒で、一人でキャップを外すことができません。
- ・ 認識が高いのにも関わらず、作業をするのに一人で取り組むことができず、支援が必要となってしまいました。

N 中1 知的障害学級

太田ステージ I ~ III - 2



ねらい

- ・ 一人でペットボトルのキャップを開けることができる。
- ・ 一連の作業を一人で行うことができるようになり、支援を少なくし、自己肯定感を高める。

- ・ 100円ショップで販売しているキャップはずし（大抵のキャップの大きさに対応できる）を購入し、それを木にサンド固定をして基本の台を作製。
- ・ 机上くけ台を使用して机に固定する。
- ・ ペットボトルの高さに合わせて、台を用意し、ペットボトルを置けるようにする。
- ・ 視覚障害があるため、上部を赤色にしてオープンナーの場所を探しやすくした。
- ・ 今までできなかったことができて、初めてできたその時、とても嬉しそうで、反省会での報告は誇らしげだった。

教材の使い方 (指導方法)

- ① 生徒机に固定 キャップを外す時に力が入るので、しっかりとした机に固定する。
- ② ペットボトルの高さに合わせて椅子を用意 その部分はすべる素材の物を用意し、ペットボトルを滑らせると、力が弱い生徒でも楽に開けることができる。
- ③ キャップはずし作業開始 自分の力でできることを実感させるために一人で作業することが大切。



くねくね ～必ずできる！一人でもできる！～

対象児童・生徒

指先や手首の使い方が滑らかでない生徒。

手を使って教材を操作する時に、力の加減が難しい生徒。

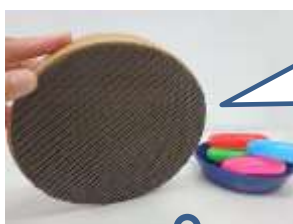
N 中3 重度・重複学級

太田ステージ Ⅰ～Ⅱ

ドーナツを一つずつ上からはずして、皿に入れます。ドーナツが小さくなるほど、難易度が上がっていきます。



裏面に滑り止めを貼って、教材が机の上でずれないようにしました。



ねらい

- ・手首を使いながら物を操作することができるようになる。
- ・教材をよく見て、手順に沿って取り組めるようにする。
- ・生徒の力に教材の難易度をフレキシブルに合わせて、スモールステップで、達成感が持てるようにする。

教材の使い方 (指導方法)

土台の木は、木工室にあったものです。ほどよい重さです。曲がる棒とドーナツ(輪投げの輪)は100均です。筒はストレッチチューブの持つところ です。



・直線に近い簡単な形から始める。くねくねから外すのが課題。はずしたら皿に入れる。(戻すのは課題ではありません。)



・できるようになったら、くねくねの角度を少しずつ、曲げていく。(少しずつ、が大事です。)



・筒でもチャレンジ。筒の直径や長さで難易度が変わります。生徒が自分から取りたくなるような素材がよいです。



・木の筒は、直線にしないと抜けません。直径も短いので、難しくなります。

フックかけ ～倒れないように支えよう～

対象児童・生徒

朝の会の後の個別課題の一つです。

N中3 重度・重複学級

太田ステージ I ~ II



ねらい

- ・両手指の操作性をたかめる。
- ・集中力を養う。

しっかり持って
バランスを保たないと
倒れてしまいます♪

教材の使い方 (指導方法)

生徒は、利き手でないほうの手で柱の一方を持ちます。

一つずつフックをリングにかけます。

すべての木片をかければ、完成！

カラフルボンボン♪マッキング ～指先を使ってお箸でつかむ～

対象児童・生徒

- ・手指の力が弱い生徒です。
- ・現在、エジソン箸を使って食事をしており、ステップアップを目指しています。

N 中1 知的障害学級

太田ステージ III-2



ねらい

- ・手指の操作性を高める。
- ・色を確認しながら、目標場所に運ぶことができる。
- ・色のマッキングができる。

・目標物は2色のカラフルな物を選び、視覚的にやる気や気持ちを高められるようにした。

・エジソン箸から急に一般の箸にするのではなく、補助具をつけて段階を踏んで行っていく設定をした。

教材の使い方 (指導方法)



①ケースからボンボンを
たら
出し、準備をする。



②箸でボンボンをつまみ、
同じ色のところに入れていく。



③最後まででき
教員に報告を
する。